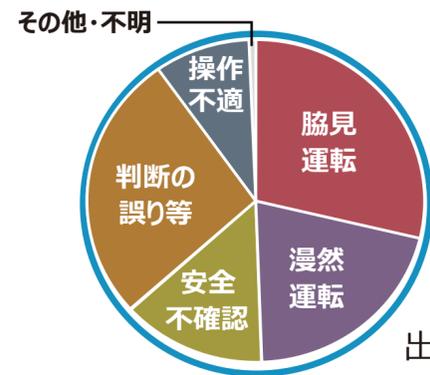


Honda SENSING Elite

安全への想い

Hondaと出会ったお客様が『好奇心』に導かれ、移動した先々でさまざまな発見を繰り返し、豊かな人生を楽しんでいただきたい。すべての人に自由な移動の『喜び』を届けたい。だからこそ、尊い命を守る安全を達成する安全なモビリティ、より安全な社会をつくるために、誰よりも頑張らなくてはならない。と、Hondaは考えます。

高速道路事故発生時の人的要因



リアルワールドで起きた交通事故の原因のほとんどがヒューマンエラーであることが分かります。このヒューマンエラーをカバーできるという意味で、運転支援技術が重要だと考えます。

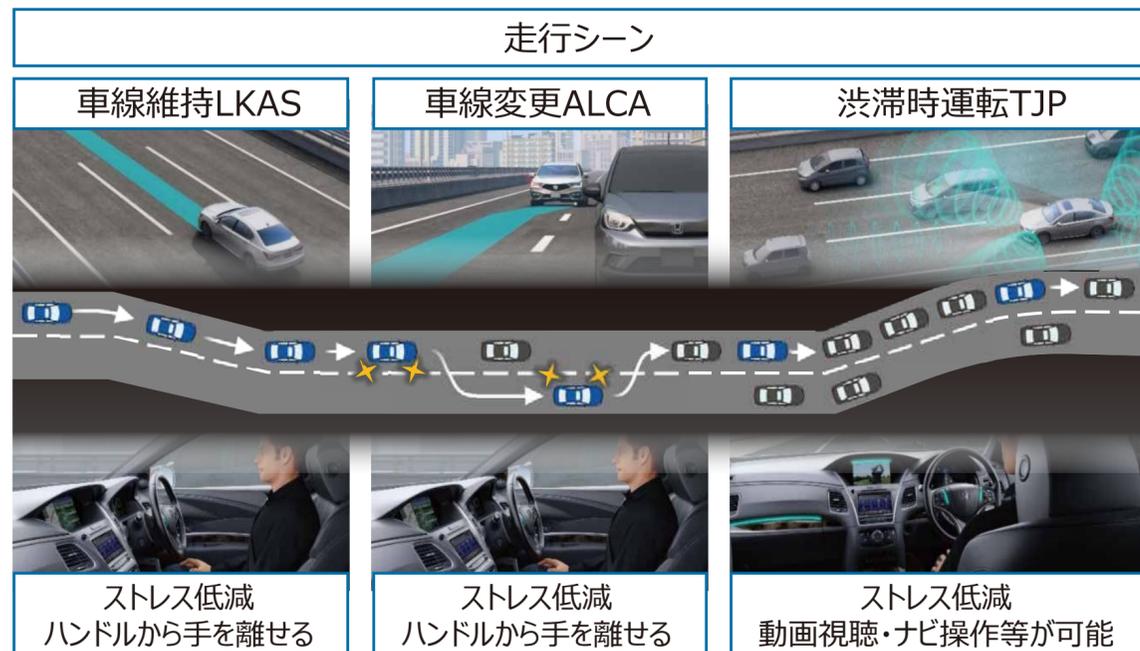
出典：交通事故総合分析センター

ヒューマンエラーそのものを排除できる大きな可能性である先進運転支援技術が重要。

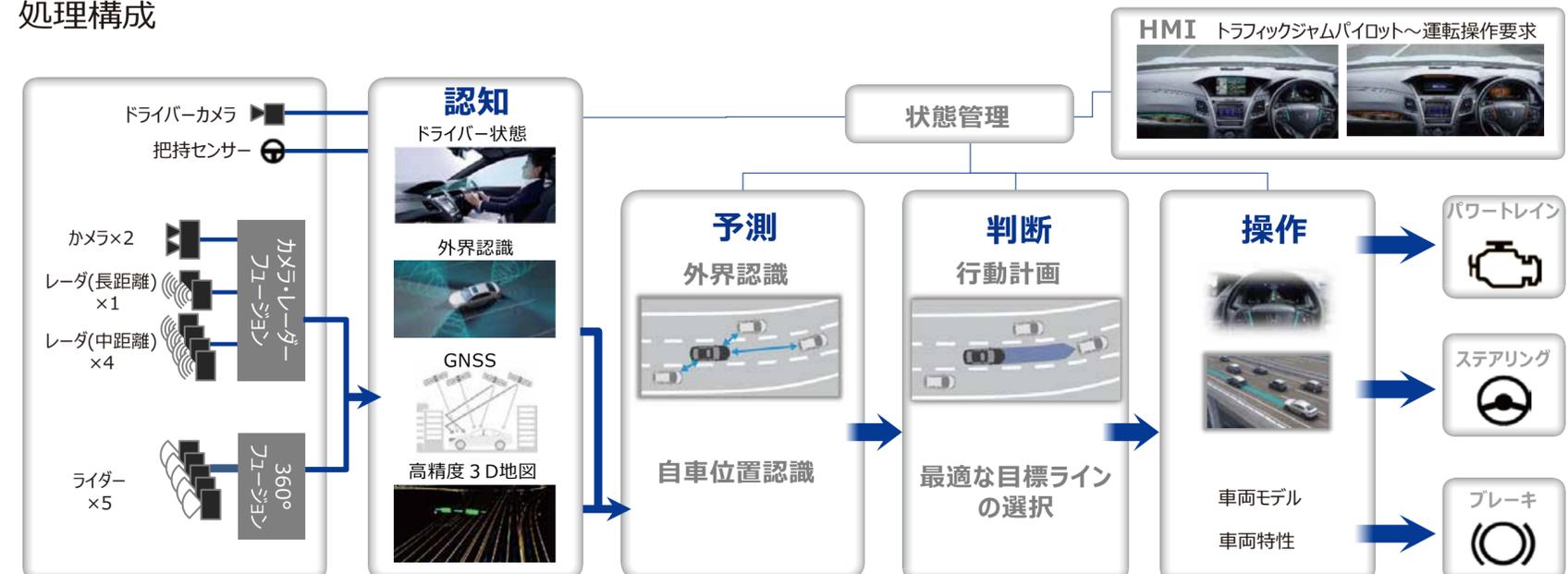
(例) ドライバーモニタリングカメラ



ヒューマンエラーの排除を目指し先進安全技術の次なるステージへ



処理構成



Honda SENSING Elite

安全性/信頼性の重視

開発の初期段階で想定ケースを洗い出してシミュレーションを実施。それでも挙げきれない想定外を減らすために、約130万kmの実証実験を実施。そこで得たデータに基づいて、またシミュレーションを繰り返すこと約1000万通り。この作業は安全性が確認されるまで続くことになります。

システム構築の概念



実証実験

実際の走行環境を網羅した、約130万kmの実証実験

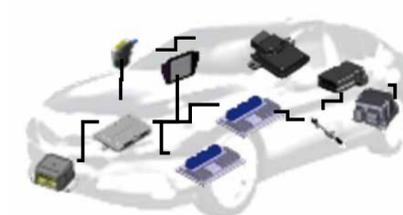


安全な作動の確認

先進のコンピューターシステムを用いた、約1,000万通りのシミュレーション



モデル・イン・ザ・ループ・シミュレーション (MIL)



ハードウェア・イン・ザ・ループ・シミュレーション (HIL)



ドライビングシミュレーター

運転者に引き継がれるまでの安全

HMI



HMIシミュレータ

作動状況や走行状況を的確に伝え、必要時にはシステムからの操作要求に確実な対応を促す。

交通事故ゼロ社会への更なる取組み



レベル3自動運転技術の研究開発で培われた知見、ノウハウをADAS（先進運転支援システム）のさらなる知能化に生かし、事故カバー率の向上を目指し、全方位安全運転支援に進化したADASを2030年までに先進国の四輪全機種へ適用します。